

制度紹介

仕事と介護の両立支援サービス

山口大学では、教職員の仕事と介護の両立支援として、「NPO法人 海を越えるケアの手（シーケア）」と法人契約を結んでおり、介護についての不安を解消するために無料相談などのサービスを利用することができます。その取組の一環として、2026年1月30日に「介護相談トークセッション～仕事と介護の両立のために～」をオンラインで開催しました。

トークセッションは、「仕事と介護の両立のために」をテーマに、参加者の皆様から事前にいただいた悩みや質問に沿って、ダイバーシティ推進担当の鍋山副学長とシーケアの介護専門職である安喰氏が対話する形式で進められ、安喰氏から一つ一つ丁寧に回答をいただくことができました。

介護は誰もが直面する可能性があり、不安に感じている方も多いと思います。介護に関する悩みや不安は一人で抱え込まないことが大切です。ぜひシーケアのサービスを利用し、お気軽にご相談ください。

- **介護についてのご相談** メール・電話・面談 すべて無料でご相談にお応えします。
- **代行業務 有料** ご相談の結果、離れて暮らすご両親のお世話等がご自身で対応できずにお困りの方に、専門職が支援します。

例えば…

転勤辞令が出た。両親の介護ができる人がいなくなる。

介護費用が高額なので、控除等制度を有効に使う方法が知りたい。

親が緊急入院。入退院の手続きや送迎ができない。

介護保険の手続きが分からない。

遠隔地に高齢の両親がいて不安。どのような準備が必要なのか。

介護施設の探し方が分からない。

親が認知症。介護疲れて、自分の介護に限界を感じる。



介護についてのご相談・代行業務のご相談・お申込みはこちら

NPO法人 海を越えるケアの手（シーケア）

事務所：東京都中央区日本橋茅場町 2-7-3 イースト・インタービル 10F

E-mail: mail@seacare.or.jp TEL: 03-3249-7231

※事務所での相談の場合、事前のご連絡をお願いいたします。 ※ご相談事、代行業務の内容に関しては動機先にも機密扱いされます。



◀ 詳細はこちら
連絡の際には大学名・法人 ID 番号をお伝えください。
※法人 ID 番号は学内限定ページからご確認いただけます。 <https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/approach/0101-2/>

山口大学ダイバーシティ推進室 ニュースレター vol.07

編集 山口大学ダイバーシティ推進室 〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1

発行 TEL 083-933-5997 E-mail ydp@yamaguchi-u.ac.jp

URL <https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>



2026年4月始動!!

ジェンダーバランスに配慮したイベント実施のためのガイドライン

Guidelines for implementing gender-balanced events

近年、社会のあらゆる分野において、多様性の確保だけでなく、多様性の強みを活かすためのインクルージョン（包摂性）やエクイティ（公平性）についても取組が進んでいます。こうした認識の下、ダイバーシティキャンパスの実現を目指す本学では、活力の源泉としてのダイバーシティのさらなる推進の一方策として、ジェンダーの公平性に関するガイドラインを策定しました。

本ガイドラインは、大学内外に広く発信されるイベントの開催にあたり、登壇者（講演者やパネリスト等）が男性だけといった特定の性別に偏ることのないよう、ジェンダーの公平性を啓発するとともに、ジェンダーバランスに配慮することで、多様な意見が反映されるイベントとなることを目的としています。

ガイドラインの詳細はこちら ▶



CONTENTS

| | | |
|----------|-----------------------------------|-----|
| 取組紹介 | ジェンダーバランスに配慮したイベント実施のためのガイドライン | p.1 |
| シンポジウム報告 | ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）総括シンポジウム | p.2 |
| イベントレポート | 広がるダイバーシティ ～パラスポーツ編～ | p.3 |
| 制度紹介 | 仕事と育児の両立支援サービス | p.3 |
| 制度紹介 | 仕事と介護の両立支援サービス | p.4 |

シンポジウム報告

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (牽引型) 総括シンポジウム

2025年12月1日に「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型) 総括シンポジウム」・「第16回中国四国男女共同参画シンポジウム」を開催しました。

このシンポジウムは、本学が代表機関として他機関と共同で取り組んでいる文部科学省の補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」(JST事業)の6年計画の取組が本年度で終了するにあたり、事業を総括することを目的に開催したものです。なおこの度は、中国・四国地区の国立大学が持ち回りで開催している「中国四国男女共同参画シンポジウム」と共同で開催しました。

シンポジウムの冒頭では、山口大学 谷澤学長からの開会挨拶に続き、文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室の大場亮平室長補佐から来賓挨拶をいただきました。その後、本事業の実施責任者である山口大学 鍋山副学長より、本補助事業に関するこれまでの取組等について報告が行われました。

続いて、鍋山副学長のファシリテートにより、第一部では「地方都市における女性活躍の課題と多機関連携の意義」、第二部では「地方国立大学における女性活躍推進の難しさと意義、その対策について」と題したパネルディスカッションが行われました。



第一部では、JST事業の共同実施機関(山口東京理科大学・宇部工業高等専門学校・UBE株式会社・株式会社トクヤマ)の担当者に登壇いただき、これまでの連携による成果や地方都市ならではの課題等について議論を交わしました。また第二部では、中国・四国地区の国立大学(岡山大学・島根大学・愛媛大学・香川大学)で男女共同参画推進に携わる担当者に登壇いただき、女性活躍推進に関する地方大学ならではの悩みや各大学での先進的な取組等について、説明・情報共有が行われました。

パネルディスカッションの後、本補助事業のプログラムオフィサーである、国立研究開発法人科学技術振興機構の山村康子氏から全体講評をいただき、最後に山口大学松野理事から挨拶をいただいたのち、閉会となりました。

シンポジウム全体を通じて、各機関からは、教育機関だけでなく民間企業等においても、地方都市では人材確保自体が困難な状況となっており、その中での女性活躍の難しさが共通の課題として切実に語られました。また、地方に女性を押しとどめる施策ではなく、女性から選ばれる機関になるために、各機関での様々な取組について、有意義な情報共有が行われました。さらには、本補助事業については本年度で終了となりますが、次年度以降も各機関が連携し合い、女性活躍を推進していくことが確認されました。



イベントレポート

広がるダイバーシティ～パラスポーツ編～

2025年10月18日にダイバーシティを推進する山口大学の学生団体 lanka(ランカ)の主催により「広がるダイバーシティ～パラスポーツ編～」が開催されました。このイベントは、山口県の車いすバスケットボールチーム「山口オーシャンズ」との共同イベントで、パラスポーツの体験を通じて、「障害」をより身近に感じ、理解を深めるきっかけとし、障害の有無や年齢に関わらず誰もが楽しめるスポーツとしての魅力を共有することを目的に企画されました。

イベントでは車いすバスケットについてのクイズや、実際に使用されている競技用の車いすを体験できるコーナーがあり、体験コーナーでは、選手から車いすの操作方法やドリブルの方法を教えてもらった後、参加者によるミニゲームが行われました。

また、2025年度次世代強化指定選手に選ばれた上田千陽選手による講演が行われ、上田選手のこれまでの歩みから、車いすバスケットのルールや魅力についてお話しいただきました。車いすバスケットの普及に向けた思いもお話しいただき、参加者にとって車いすバスケットへの理解を深めるとともに、新たな感動と活力を得る貴重な機会となりました。

イベントの最後には、選手による実際の試合を観戦し、巧みな車いす操作やスピード感に驚き、シュートが決まるたびに歓声があがり大いに盛り上がりました。



制度紹介

仕事と育児の両立支援サービス



山口大学では、様々な仕事と育児の両立支援サービスにより、教職員のワークライフバランスを支援しています。

01 学内学童保育「ヤマミィ学級」

小学校の長期休業中(夏・春休み)に、教職員等のお子様を対象として、山口地区で学内学童保育「ヤマミィ学級」を実施しています。



<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/approach/0103-2/>

02 病児保育施設等利用助成制度

教職員のお子様(小学校3年生まで)が病児保育施設を利用した場合、利用料の一部を助成します。



<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/approach/0106-2/>

03 企業主導型保育施設

山口大学は複数の企業主導型保育施設と利用契約を締結しており、教職員のお子様は、契約している保育施設の保育サービスを利用することができます。



<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/approach/0102-2/>

04 研究補助員制度

ライフイベント中の教員等を対象にした制度で、研究活動に必要な業務を補助する研究補助員を上限時間の範囲内で雇用することができます。



<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/approach/02-2/#04>